

たかがニキビ、されどニキビ

“ニキビは青春のシンボル” いずれ知らない間になくなるのだからほっておいてもかまわないとおっしゃる方々はニキビで悩んでいる患者さんたちの気持ちがまったく理解できていないと言わざるをえません。10代20代のみならず多くの成人の患者さんたちもニキビで悩んでおられますが効果的な治療を受けている患者さんたちはその一部にすぎないようです。ニキビにもいろいろな種類があり、そのタイプによって最も効果的な治療方法が選択されなくてはなりません。特に炎症が強くニキビ跡が残る可能性が高いタイプでは積極的な治療が必要です。ニキビ跡が残ってしまった後あの時皮膚科で適切な治療を受けていれば一生悩まずにすんだのにと後悔している患者さんたちを多数みかけます。

アメリカやイギリスでは炎症が強くニキビ跡が残りそうな患者さんたちに Accutane (Isotretinoin) という内服薬を処方することが多いのですが日本では副作用の観点からこのお薬は認可されておりません。このお薬の副作用の中で最も憂慮されるのは胎児の奇形です。すなわち妊婦がこのお薬を服用しますと赤ちゃんが奇形児として生まれてくる**危険性**が高まるのです。炎症が強くニキビ跡が残りそうなタイプのニキビ治療にこのお薬が必ず必要かと申しますとそんなことはありません。実際私が担当させていただいていた虎ノ門病院皮膚科ニキビ専門外来（東京都港区）ではあらゆるタイプのニキビに Accutane (Isotretinoin) 無しで対応させていただき満足のいく治療効果をあげておりました。よって当院ではこの特殊なお薬は処方いたしません。

当院では下記のような治療方法を用いてあらゆるタイプのニキビを治療しております。特に“いろいろな治療方法を試してみたがなかなか良くならない” “私のニキビは治らない” とお考えの患者さんたちは一度受診してみてください。

治療方法

1. 抗生物質；クリンダマイシン ローション（外用）
ミノサイクリン（内服）
セファマイシン（内服）
2. 面ぼう圧出（Comedo extraction）
つまったニキビ（化膿したニキビ、黒ニキビ、白ニキビ）を特殊な器具で押し出すのですが熟練した皮膚科医の最も得意とする手技のひとつです）
3. 光線療法 ブルーライトおよびレッドライト
4. 生活指導

生活指導はニキビを治す上で最も大切な手段のひとつです。実際私たちはどんなお薬よりもふだんの生活様式を指導することが特に治りにくいニキビを完治に導くための秘訣であると信じて疑いません。ニキビのタイプによってケースが異なりますので治療にあたらせていただく私たちにそれぞれの患者さんに最も適したアドバイスをさせていただければ幸いです。